我等は從來標榜し來つた勞農ロシアの承認シベリア即時無條件撤兵、對露通商開始を飽く迄主張する。これ我等が日露兩國並に東亞の平和を切望するが故である。我等は今回の長春會議は失敗したれども出來る丈け近き將來に於て再び日露兩國の會議が開催されて以て政治上並に經濟上兩國の福利に貢獻せんことを期待する。

我國勞働運動の中堅としての我等の使命と責任とは我等の等しく自覺する處であるが更に、我等の陣容を充實し以て理想への戰線を進めて行く爲めには運動の戰術上、種々考慮を要すべきもの、存することは明かである。例へば總同盟の組織を適當なる方法に依つて漸次產業別に向けて行く事、組合の方針が唯だに狹小なる當面の組合的利害のみならず進んで全勞働者階級に密接の利害を有する社會的經濟的政治的問題に就て考慮する事、空漠なる形式的論議を避けて實質的効果のある現實政策に心を用ふべき事等之である。我等は之等の諸點を充分に考慮することに依つて總同盟今後の發達に甚大なる貢獻を致す可きを確信する。

全世界の勞働者諸君、並に全日本の勞働者諸君、我等は出來得る限り廣く且つ深く諸君と提携協力して進むべきことを切望する。我等は諸君の最も忠實なる戰友にして常に喜んでプロレタリア解放の爲めに犧牲的奮鬪に從ふものであることを茲に誓明する。(了)

主張

一、八時間勞働及一週四十八時間制度の實施（但し鑛山勞働者の坑內勞働は坑口交代六時間一週三十六時間制とす）

二、最低賃銀の設定

三、夜業の廢止

四、治安警察法撤廢

五、勞農ロシア承認

六、メーデーに全國的休業

七、經濟的行動の全國的協力

右朗讀の後ち十二年度の大會場所を東京と決定し役員を左の如く改選した。

名譽會長　鈴木文治君　　主事兼會計　松岡駒吉君

會計檢查　佐藤定而君　　同　根本與助君

中央委員　橫石信一　岡野實（關東）

西尾末廣　辻井民之助

柴田富太郎　塚本重藏（關西）

坂口義治　野一（鑛山）

役員決定後、鈴木會長は議長席に着き留任の挨拶をかね大正十一年の大會の幕を悉なく閉じたのは午後六時であつた。

出席代議員

野田律太　前田兼一　小林廣吉　久保時造

平井美人　中山吉郎　山內鐵吉　石角勇佶